

令和4年度
がんばる農家プラン

地域に活力を！
家族で取り組む儲かる複合経営

遠藤 和也

はじめに

我が家は兼業農家で父が水稻をしており、私は休日に手伝いをする程度でした。しかし、高齢化等により地域の耕作者が激減し農地が荒れていくのが現実になるなか、私が農地を守っていきたいと思うようになり、平成 30 年に就農し、鳥取県立農業大学校のスキルアップ研修を受け野菜の基礎知識を習得しました。

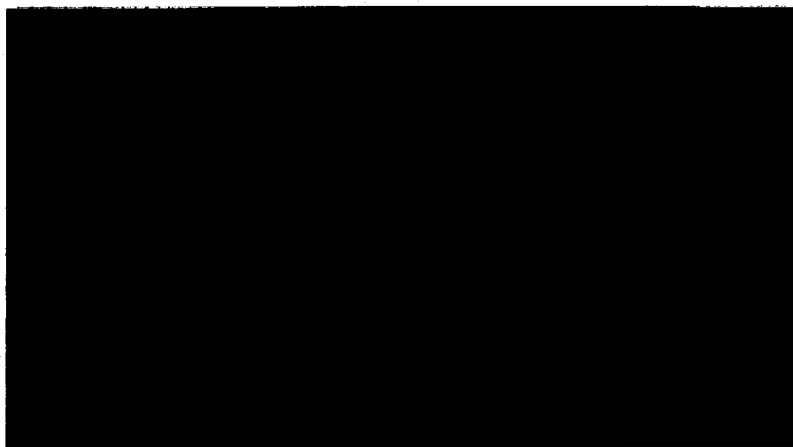
平成 31 年 3 月には、経営主の父と母と私で複合経営の中の各々の役割と責任を明確にするとともに、力を合わせて経営を発展させていくように家族経営協定を結びました。

そして、令和 4 年 1 月には、父に代わって私自身が経営主となり、同年 3 月に認定農業者となりました。

私の家族構成は、次の表のとおりで 4 人の大家族です。私と父と母が農作業の中心ですが、休日になると、白ねぎの調製作業等に、妻や妹、子どもたちの家族皆が協力してくれます。

続柄 (年齢)	摘要
私 ■■■■■	経営主、野菜部門主担当
父 ■■■■■	水稻部門主担当
母 ■■■■■	記帳及び補助作業
■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■

続柄 (年齢)	摘要
■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■

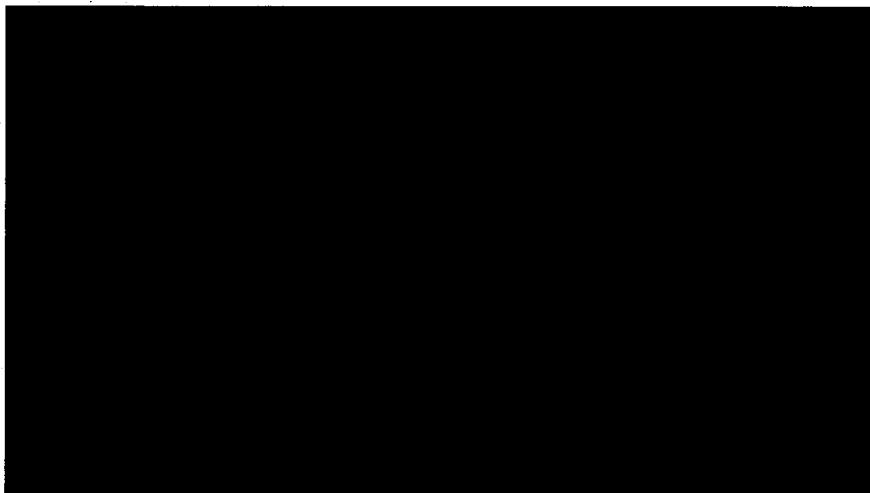
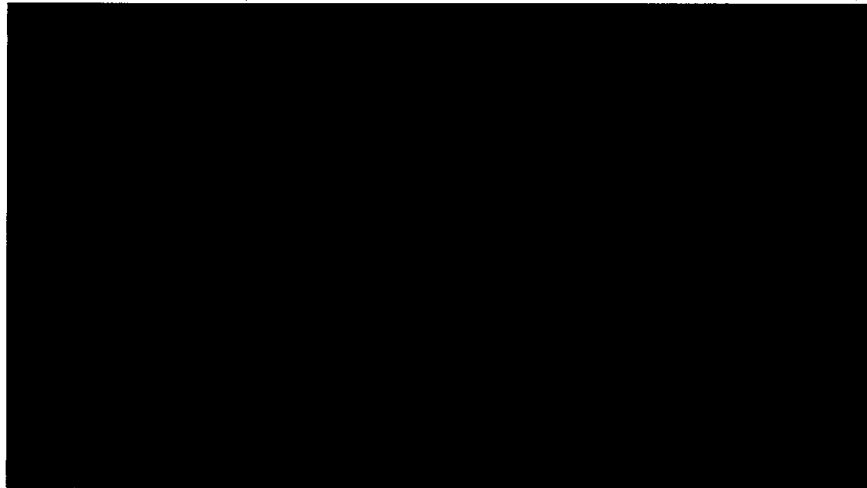


家族で取り組む白ねぎ調製作業の様子

現在は、水稻、白ねぎ、ブロッコリー、スイートコーンを主に栽培をしています。その中でも野菜の主力は白ねぎですが、日野町では年々白ねぎの栽培農家が減っています。新規で栽培を始める人がない中、日野町から白ねぎの生産者をなくしたくない思いから、白ねぎ部会の部長も引き受け盛り上げていこうと思っています。

これからの課題として、まず排水対策が急務です。野菜を栽培していく圃場は水田転作圃場なので、排水対策を怠れば収量は上がりません。このプランを用いることにより排水を改善し反収をアップさせます。また、地域の生産性の向上を目指して排水対策の作業受託も行い、新規の生産者でも野菜作りに抵抗なく参加できるように、まずは私が道筋をつけていきたいと思っています。

また、新たな作物にも挑戦しています。その作物は、青パパイヤです。日野町の若手メンバーとともに、生産グループを立ち上げ、活動を始めています。青パパイヤにはいろいろな可能性があると考えています。この青パパイヤを日野町の特産品にすることが、遊休農地の解決になると思います。



根雨小学校 5 年生と奥ひの青パパイヤ研究会の収穫イベントの様子
(令和 3 年 10 月 26 日)

1 生産経営の現状・課題

1) 生産経営の現状

品目	令和3年度実績	内訳
水稻	349a	一般コシヒカリ 181a 星空舞 136a、鈴原糯 32a
	47a	作業受託 47a
白ねぎ	26a	夏ねぎ 12a 秋冬ねぎ 14a
ブロッコリー	32a	初夏ブロッコリー 16a 秋冬ブロッコリー 16a
スイートコーン	10a	
その他野菜	40a	青パパイヤ、ピーマン等 (しいたけ含む)
合計	504a	

作物別主要作業

作物	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稻				田起・代掻き・田植え						刈取・乾燥調整		秋起し
白ねぎ	育苗・定植									収穫・出荷調整		育苗
ブロッコリー			育苗・定植			収穫・出荷調整		育苗・定植		収穫・出荷調整		
スイートコーン			育苗・定植				収穫・出荷調整					
青パパイヤ	育苗・定植									収穫・出荷調整		

主な保有機械



2) 課題等

圃場が散在するなかで経営面積の拡大を図るため、農業機械の作業効率低下に対する対策や畦畔の雑草管理、排水対策が必要となります。また、農業所得向上のためには家族労働力を最大限に活用した野菜との複合経営も必要になると思います。

2 生産経営等における課題解決に向けての改善内容、効果

1) 改善内容及び効果

今後規模拡大していく中で、今までのやり方ではまかなえなくなります。まず一つに圃場間の移動があります。圃場一枚の面積は少なく枚数があります。また、春先の作業が重なり、今所有しているトラクターでは、これ以上の枚数を抱えると作業の遅れが出てしまいます（別紙参照）。そのため、高馬力のハイスピード仕様のトラクターを導入し、作業効率を上げるため、ワンランク上の作業機を導入して作業性をアップする必要があります。

次に排水対策です。どの作物にも共通することですが、排水を徹底することで、水稻では秋の作業が容易になり、水田転作での野菜の栽培も容易になると考えます。また、作業受託を受ければ収益も上がります。

次に土作りです。現状は人力で肥料散布を行っていますが、面積が増えるとそれも難しくなります。コンボキャスターだと早く散布が出来て良いように思いますが、実際は肥料の飛ばし

すぎ、撒きたい箇所に飛んでないなどロスがあると思います。確実に必要なところに散布できるようにと肥料を混合して散布できるようにミックソワーを導入して必要なところに肥料散布し、ロスを低減します。

次に草刈り作業です。水稻の担当は父ですが、草刈りは2人でしています。面積が増えると必ず草刈りも増えます。そのため、機械で出来るところは機械でしていく形にしないと維持管理が出来ません。そこで、ある程度畦畔が刈れる物を導入する必要があります。中山間地では作付面積より畦畔の草刈り面積が多い場所もあり、機械の導入によりロスをなくしていくことが大事だと考えます。

内容	課題	改善内容	効果
規模拡大	規模拡大に伴う ・圃場間の移動時間 ・春作業の重複	トラクター (33馬力) ロータリー サイバーハロー導入	規模拡大後の作業効率アップ
排水対策	排水不良圃場の整備	サブソイラー導入	排水対策の改善ができることにより、 水稻 秋作業の作業効率アップ 水田転作 野菜栽培の作業効率アップ
土作り	肥料散布に伴う人力不足、現有機械の作業が困難	ミックソワー導入	適切な散布ができるようになり、作業及び肥料効率アップ
草刈り作業	規模拡大に伴うマンパワー不足	スライドモア導入	草刈作業を効率化することができる

2) 事業目標

規模拡大する中で、面積ばかり増えても収穫量が増えなければ収益が上がりません。

- ① 水稻については、収量の多い星空舞と主力のコシヒカリと組み合わせ、標高に応じた作付けと収穫期の分散を進めます。導入機械等による作業の効率化と施肥改善等を進め、適期作業と栽培管理に努め、収量アップを目指します。販売については、直売なども考えていきます。
- ② ブロッコリーについては、作柄の選定と品種の選定が必要です。R3年の実績を元に品種は令麟主体で、SK9、おはよう、こんにちはなどの品種をその時の圃場条件等で選定していき、初夏どりを主体に秋冬どりも作付けを増やします。初夏はJA主体の出荷、秋冬は市場、道の駅等地元を中心に販売し、収益アップを目指します。
- ③ スイートコーンは、R3年からスタートしました。育苗管理が難しく苦労しています。そのため、老化苗が増え本圃に定植後の発育に差が出て、収量が激減しました。このことから育苗管理の徹底をはかり、健全な苗を作ることが重要と考えています。スイート

コーンは、鮮度が命のため、基本JA出荷ですが、お盆に収穫できるように調整をして、直売が出来るようにします。

- ④ 白ねぎは、栽培スパンが最も長い作物です。育苗から収穫までは8ヶ月弱かかります。そのため、品種の選定も大事です。日野郡では難しい7月取りが出来るように大苗の定植を開始していますが、なかなか難しく苦戦しています。R3年に10月播種、12月播種の栽培試験を実施した結果、12月播種の大苗を作ることにより、8月上旬出荷で2L・L率が高いことが分かりました。R4年は大苗プラス一部トンネルをすることで7月出荷が出来ないか試験栽培を進めるとともに、7月播種の8月定植による6月出荷が出来ないか試験を行っていきます。
- ⑤ 青パパイアは、魅力を発信しながら、栽培に挑戦し、加工と販売開拓をすることで新たな特産品になるように努めます。

以上のことから、経営面積を現在の504aから近隣の農地を借り入れ、水稲450a、白ねぎ50a、ブロッコリー65a(初夏35a、秋冬30a) スイートコーン35a、作業受託等100a、トータル740aまで拡大しようと考えています。これにより、地域の農地を守って行きます。また、複合経営の強みを生かして新たな特産品の開発もし、新規就農者の受け皿、農業の楽しさを発信していただけるように尽力します。

3) 年次別の目標項目及び数値

品目	経営面積 (a)				
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
水稲	349	380	400	450	450
作業委託	47	50	50	100	100
白ねぎ	26	35	40	50	50
ブロッコリー (初夏どり)	16	18	21	35	35
” (秋冬どり)	16	17	19	30	30
スイートコーン	10	20	30	35	35
その他野菜 (青パパイア、ピーマン等)	40	40	40	40	40
合計	504	560	600	740	740

3 目標に向けての取組

1) 年次別の行動計画

項目	内容	R 3	R 4	R 5	R 6
規模拡大	利用権設定、近隣農家との話し合い、 遊休農地の確保により面積拡大	○	○	○	○
トラクター	33ps ホイール型ハイスピード仕様		◎		
ロータリー	1.8m高耐久性のロータリー		◎		
MIX ソーワ	攪拌可能、すじまきタイプ		◎		
サブソイラー	2本爪タイプ		◎		
スライドモア	1.4mタイプ			◎	
サイバーハロー	3m電動開閉、軽量型			◎	

※ ◎は県、町の支援が必要なもの（がんばる農家プラン支援事業）

4 機械・作物の年次別計画

年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
機械・施設の導入計画		トラクター (5,154千円) ロータリー (934千円) ミックスソーワ (734千円) サブソイラー (304千円)	サイバーハロー (1,226千円) スライドモア (946千円)	
対象作物の生産計画	(現状) 水稲 349a 白ねぎ 26a ブロッコリー 32a スイートコーン 10a その他野菜 40a (青パパイヤ、 ピーマン等) 作業受託 47a	水稲 380a 白ねぎ 35a ブロッコリー 35a スイートコーン 20a その他野菜 40a (青パパイヤ、 ピーマン等) 作業受託 50a	水稲 400a 白ねぎ 40a ブロッコリー 40a スイートコーン 30a その他野菜 40a (青パパイヤ、 ピーマン等) 作業受託 50a	水稲 450a 白ねぎ 50a ブロッコリー 65a スイートコーン 35a その他野菜 40a (青パパイヤ、 ピーマン等) 作業受託 100a

5 支援事業の内容

内 容	事業費 (千円)			負担区分
	R4	R5	R6	
トラクターの導入	5,154			県 1/3 町 1/6 本人 1/2
ロータリーの導入	934			
MIXソーワの導入	734			
サブソイラーの導入	304			
スライドモアの導入		946		
サイバーハローの導入		1,226		
合計	7,126	2,172		

6 おわりに (農業や家族への思い)

農業はなかなか儲からないとか、えらいとか、いろいろ言われますが、日々の努力により技術を磨き、技術が向上すれば利益が上がります。そして利益が上がれば規模拡大にも挑戦でき、それによって人が集まってきます。人が増えることにより農業人口を増やことができ、それにより農業者同士が切磋琢磨し品質が向上します。そこに農業の大きなやりがいがあると考え、それを目指して小さな一歩を踏み出し歩んでいくことが農業だと思います。

そして、今春、XXXXXXXXXX 農業全般の基礎を学んでいます。近い将来就農し、今以上に家族が力を合わせて、儲かる複合経営を発展させていくのが楽しみです。

そのために、このがんばる農家プランで、経営発展の基礎を築きたいと考えています。

